



# 学力定着状況確認テストの結果分析と今後の取組

©岡山県「ももっち」

今号では、学力定着状況確認テストの結果について、分析の視点と今後の取組の具体例を紹介します。各学校における取組の参考にしてください。



返却された結果一覧を見ると、各問題ごとの平均正答率や正答数分布は分かるけど、他にどんなことが分かるのかな。

## 結果を把握・分析する視点例

今年度の確認テストでは右の表に示すように、令和6年度の全国調査と同一の問題も出題しています。分析の視点例は次のとおりです。

小4 算数

問題番号	正答率		県との差	解答率	
	自校	県		自校	県
1	57.4	66.8	-9.4	0.0	0.9
2	61.3	49.7	11.4	3.7	4.6
3	61.1	46.4	14.7	0.0	1.4
4	85.2	69.2	16.0	0.0	1.0
5	87.0	82.6	4.4	0.0	1.0
6	85.2	85.1	0.1	1.9	1.7
7	77.8	77.5	0.3	0.0	1.8
8	61.1	48.2	12.9	0.0	2.0
9	55.6	43.5	12.1	1.9	1.7
10	68.5	46.4	22.1	0.0	0.0
11	51.9	57.2	-5.3	0.0	1.5
12	77.8	82.5	-4.7	0.0	1.7
13	85.2	74.3	10.9	0.0	2.0

学力定着状況確認テスト結果（イメージ）

### ①同一集団における同一問題の正答率の推移を見る。



4月の全国調査と比較すると正答率が高くなっていますね。

調査翌日に解き直しをしたことがよかったのでしょうか。

### ②異なる集団における同一問題の正答率を比較する。



R6全国調査の中3と確認テストの中2の結果を比較すると、中2の正答率が高いですね。

調査の結果を受けて、教科会で改善案を考えて、中2で授業したんです。その成果が出たのかもしれないですね。

確認テスト	R6全国調査
小5国語①	小6国語1一
小5国語②	小6国語1二(1)
小5国語③	小6国語1二(2)
小5国語④	小6国語1三
小5算数⑩	小6算数3(3)
小6算数⑨	小6算数4(4)
小6算数⑪	小6算数2(2)
中1国語⑥ 中2国語⑧	中3国語3一
中1国語⑦ 中2国語⑨	中3国語3二

表 確認テストと全国調査問題との関連

同一集団の推移や異なる集団を比較することで、自校の取組の成果が分かります！

## 学習指導や学力保障につなげる取組例



結果を把握・分析した後、どのような取組をすればよいのかな。

右図の確認テスト小6算数⑨の結果とR6全国調査の結果を比較した後、次のような取組が考えられます。

【例①】 **子どものつまづきを把握し、個別に指導する**  
→「ステップアップ」※を活用し、どこにつまづいているかを見取る力を高めることができるようにする。

【例②】 **再度確認テストを受検させる**  
→子どもが間違えた要因を考え、自己調整力を高めることができるようにする。

【例③】 **効果的な指導方法を全学年で共有する**  
→校内研修等の時間を活用して、組織的な指導ができるようにする。

(4) たけるさんは自転車で、家から郵便ポストの前を通って図書館まで行きました。家から図書館まで、5分かかりました。

道のり  
600 m      400 m  
時間  
3 分間      2 分間

家      郵便ポスト      図書館

分速 200 m      分速 200 m

家から郵便ポストまでは、道のりは600 mで、3分かかり、速さは分速200 mでした。  
郵便ポストから図書館までは、道のりは400 mで、2分かかり、速さは分速200 mでした。  
家から図書館までの自転車の速さは、分速何 mですか。  
答えを書きましょう。

図 R6全国調査小6算数4(4)〈学力定着状況確認テスト小6算数⑨〉

※「ステップアップ」の活用等については、事務連絡「令和6年度ステップアップの活用について(通知)」(令和6年11月29日付)に添付している資料を参照してください。

子どもが確実に力を身に付けられるように、各学校で工夫しながら、年度末に向けた指導を充実させましょう！